

2013年(平成25年)11月29日(金) NO 68号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆ 社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆ 商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆ 本社	埼玉県川口市芝塚原 2-3-11 エステートミア	TEL 048-261-3412
◆ 千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】

 機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
 防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

【加盟団体】

 RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
 起 NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
 公益社団法人	千葉東法人会青年部	http://www.chibahojin.jp/
 一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
 NPO 法人	日本危機管理学総研	http://www.kikikanri.jp/
 公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体企業】



ごあいさつ

日経トップリーダーの12月号に「稲盛哲学、中国に渡る」という記事が掲載されています。稲盛和夫さんが伝授する「盛和塾」は現在、中国にも波及しており、3年で塾生が1,500人と急増しています。(日本の塾生は30年で9,000人)

稲盛さんは京セラの経営理念に「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する」と掲げています。

中国の経営者が、国の発展とともに物質的な幸福を得ることができた反面、精神的な幸福は空虚が蔓延しているなか、それを埋めるべく稲盛哲学に心酔する人たちが増えているようです。

中国にGDPでは追い越された日本ですが、日本人の持つ道徳観は決して真似のできるものではなく、その点は日本人としての誇りを感じていました。

しかし、稲盛哲学を学ぶ人たちが大いに増え続けた場合、物心両面で本当に日本は叶わなくなってしまうかも知れないことに危機感を感じます。反面、秩序と利他を兼ね備えた道徳心を持つ中国人が増え、お互いに良い関係を築ける隣国になれることに期待感も感じます。

稲盛さんの力で中国も変えてしまうかも知れません。

代表取締役 木戸 良樹

現代の偉人 小野 二郎（すきやばし次郎店主）



【記者：神の領域ともいわれる小野さんの握りの技術は、どうやって身につけていかれたのですか？】

これはもう自分の努力ですよ。
100 個握るよりか 1000 個、
1000 個よりか 10 万個っていうふうに、
数を握れば上手になりますし、それはもう、数をやらなき
やダメですよ。
そうやって、死ぬまで勉強、死ぬまで仕事だと思いながら

一所懸命でやらなかったら、何をやってもダメだと思いますね。

うちの店でも、ここへ修業に来て 3 日も持たない子が
いっぱいいますよ。

一番短いのは、午後にお母さんが連れてきて、
その日の夜にそのまま帰っちゃったという子(笑)。
夜中で、電車も何もないから浜松までタクシーを走らせた。

他にも、人員に空きが出るのを半年も待ってて、
やっと声を掛けたら、何も知らない素人だから、
皆が仕事してるのをただ見てるだけ。
それで「立ってるのが疲れたので辞めます」って(笑)。
その程度の者が多いんです。



だから、私はこの仕事は合うとか合わないとかって
いう若い人の言い分を聞くと、つい言いたくなるんです。

仕事っていうのは合う合わないじゃなく、
こっちから努力して合わせていくものだって。

これが自分の仕事だと思って一所懸命でやれば、
仕事というのはかわいくなって、自分がだんだんその

中へはまっていくものなんですよ。

そしたら自分のことも好きになっていきますし、
楽しくなってきますし、やっぱり自分が
そこに惚れ込んでいかなきゃダメだと私は思いますね。

ご紹介させていただいたのは、6 年連続ミシュラン三つ星に輝くすしの名店「すきやばし次郎」店主で
85 歳現役“すしの神様”の異名をとる小野二郎さんのインタビューです。

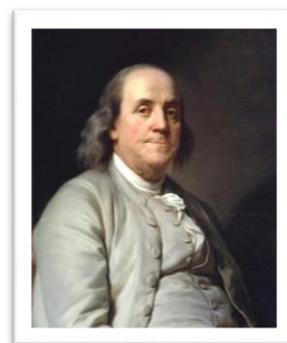
記事提供 到知出版社

今月の良い話 ベンジャミン・フランクリン(政治家・物理学者・発明家・他多数)

「時は金なり」「天は自ら助くるものを助く」「結婚前は両目を大きく見開いて相手を見よ、結婚したら片目を閉じよ」などの格言で知られるベンジャミン・フランクリン(1705~1790年)は、一介の印刷工からスタートし、著述家、慈善事業家、発明家、政治家、外交官など、多岐にわたる活躍をしたのち、米国の「独立宣言」の起草に関わったことから、「アメリカ建国の父」と呼ばれた18世紀の米国を代表する立志伝中の人物です。

米100ドル紙幣の肖像画がそうです。

また、フランクリンが残した『フランクリン自伝』は明治維新後の日本でも広く読まれ、日本人にもなじみの深い人物として知られます。その自伝の中に、世界でも広く知られた「13の徳目」があります。



《フランクリンの13徳目》

- 1 節制 頭が鈍るほど食べないこと。
酔って浮かれ出すほど飲まないこと。
- 2 沈黙 他人または自分自身の利益にならないことはしゃべらぬこと。つまらぬ話は避けること。
- 3 規律 自分の持ちものはすべて置く場所を決めておくこと。
自分の仕事はそれぞれ時間を決めてやること。
- 4 決断 やるべきことを実行する決心をすること。決心したことは必ず実行すること。
- 5 節約 他人または自分のためにならないことに金を使わないこと。
- 6 勤勉 時間を無駄にしないこと。有益な仕事に常に従事すること。
必要のない行為はすべて切り捨てること。
- 7 誠実 策略を用いて人を傷つけないこと。悪意を持たず、公正な判断を下すこと。
発言する際も同様。
- 8 正義 他人の利益を損なったり、与えるべきものを与えないで、他人に損害を及ぼさないこと。
- 9 中庸 両極端を避けること。激怒するに値する屈辱をたとえ受けたにせよ、一步その手前でこらえて激怒は抑えること。
- 10 清潔 身体、衣服、住居の不潔を黙認しないこと。
- 11 平静 小さなこと、つまり、日常茶飯事や、避けがたい出来事で心を乱さないこと。
- 12 純潔 性の営みは健康、または子孫のためにのみこれを行って、決してそれにふけて頭の働きを鈍らせたり、身体を衰弱させたり、自分自身、または他人の平和な生活や信用を損なわないこと。
- 13、謙遜 キリストとソクラテスに見習うこと。

フランクリンは、これらの徳目を習慣化するために、手帳に表をつくって、各徳目についての達成度を点検したそうです。

例えば、最初の週は1番目の徳目の「節制」に意識を集中し、「節制」に関することは、どんな些細な失敗にも目を光らせて、夕方になると1日の過ちを黒点で記録していったといいます。

1週間で「節制」に黒点がなければこの徳目は達成。

それを確認した上で、次の週は2つ目の「沈黙」の徳目に移る。

できないことを「一気に」「すべて」行うのではなく、「着実に」「一つずつ」習慣化していくというところに、フランクリンの工夫が見られます。

記事提供 到知出版社

事件ファイル NO68 キャッシュカード詐取 映像

日時 平成 25 年 10 月 24 日(木)PM 12 時 12 分ごろ

場所 埼玉県さいたま市西区

内容 キャッシュカード詐取

高齢女性に息子さんの何らかの緊急事情を装い電話をかけた犯人は、マンション外の道路でその女性からキャッシュカードを詐取した後、ATM から現金を引き出した事案。



* 犯人逮捕にご協力下さい。映像はトリミング加工しています。

プロ太の小話集 NO68 『似たところ』

刑務所 : 三度の食事が無料で出る

会 社 : 一食だけで、しかも自費

刑務所 : 真面目に働けば早く出られる

会 社 : 真面目に働けばさらに仕事が増える

刑務所 : 専用トイレがある

会 社 : トイレは共用

刑務所 : 経費は税金から支払われる

会 社 : 給料から税金が引かれる

刑務所 : いじわるな見張りがいる

会 社 : いじわるな見張りがいる



今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

猪瀬都知事は、おもてなしをする側なのに裏ではおもてなしを受けていました。それにしても有識者の猪瀬さんが見せた借用証は、あまりに漫画のように稚拙でなんとも滑稽でした。

意図してやったとしたらとても大物に違いありません。

昔は悪事を暴いていた人が、立場が変わると悪事を働く側になってしまうという典型的な図柄です。常識的に考えたら、このまま都知事職は続けられないでしょう。

稲盛さんの「六つの精進」のなかに「謙虚にして驕らず」「反省の毎日を送る」とモロロジー創設者廣井千九郎博士の格言で「断えず向上して修身努力す」という言葉を猪瀬さんに送りたいと思います。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長 10メートル・体重 1トン・無敵無敗)